

# たかけい学報

キャンパスの交差点

77

**-高崎経済大学開学50周年記念特集号-**

*Bulletin of Takasaki City University of Economics*



2007 Summer





# 高経グラ

フレッシュマンキャンプ(体育会)





# ファイティ1

フレッシュマンキャンプ(文化サークル)





# 高経グラフィティ2



地域政策学部  
ゼミナール  
協議会



三扇祭実行委員会



留学生交流会

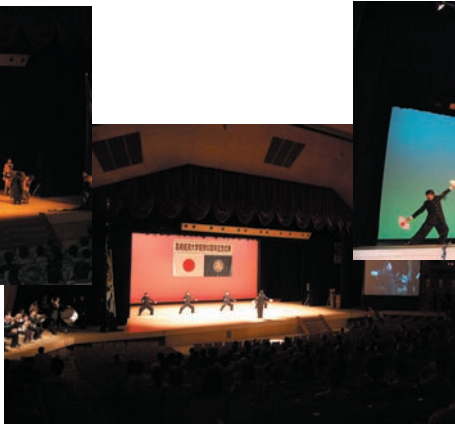


# 第34回鶴鷹祭





# 50周年記念式典





# もくじ

グラビア 「高経グラフィティ」・「第34回鶴鷹祭」・「50周年記念式典」

・巻頭言 前広報委員長 河辺 俊雄

## 50周年特集

- ・『高崎経済大学五十年史-地域貢献の理想を求めて』の編集を終えて  
前「高崎経済大学五十年史編集委員会」委員長 武井 昭
- ・高崎経済大学沿革
- ・「節目の年」、高崎経済大学50周年記念式典を開催

## 学生生活

- ・平成19年度入学式
- ・高崎経済大学に入学して 吉田 由美子
- ・新入生歓迎会を終えて 佐々木 清充
- ・新任教員紹介
- ・平成19年度高崎経済大学役員
- ・日本ギター重奏コンクール第二位入賞をして 神垣 学
- ・第34回 鶴鷹祭試合結果
- ・平成18年度地方別就職状況
- ・平成18年度業種別就職状況

## シリーズ

- ・卒業生訪問 経済:中谷 泰治(昭和45年3月卒)  
地域:渡邊 大輔(平成19年3月卒)
- ・クラブ紹介 ワンダーフォーゲル部・国際政治経済研究会
- ・ふるさとを語る 国内編:庄司 真人(大阪府)  
国外編:YARA HIGA MEGUMI(ポリビア共和国)
- ・姉妹校留学 ドイツ留学体験記 生川 真実  
アイルランド留学体験記 大澤 典子

## 大学から

- ・人事関係記事 教員・職員
- ・平成19年度公開講座
- ・平成19年度入試実施状況
- ・平成20年度入試日程
- ・図書館だより
- ・同窓会事務局から
- ・大学広報





## 開学50周年を迎えた高崎経済大学とオープンキャンパス

前広報委員長 **河辺 俊雄**

高崎経済大学は平成19年6月25日に開学50周年を迎えた。その半世紀の間に、高崎経済大学は大きく発展し、日本有数の地方公立大学へと成長した。卒業生は2万3千名を超える。

経済学部には経済、経営の2学科が、地域政策学部には地域政策、地域づくり、観光政策の3学科が設置され、教育面での充実が著しい。また、大学院は地域政策研究科と経済・経営研究科において博士課程を持ち、研究面においても高いレベルに達した。学内には産業研究所および地域政策研究センターの2施設を持ち、公立大学としての独自性を保ち、地域貢献の理想を求めながら、地域の諸問題に取り組んでいる。

高崎経済大学の建学以来の校風は、「学ぶ自由」を重んじることであり、「グローバルな視野で地域に密着して行動し、社会に広く貢献できる」ことを身につけるような教育を実践してきた。また、「少人数精鋭教育」を大学の理念として重視し、ゼミナールを中核にすえた教育を行っている。ゼミ教育で研鑽を積み、学生一人一人が広範な知識を身につけ、深い思索に結びつけることができる。

このような高崎経済大学の良さを、もっと知ってもらい、受験にも有益な情報を提供するために、平成18年よりオープンキャンパスを始め、今年で2回目をむかえた。教職員と在学生在が様々な工夫を凝らした内容のプログラムを用意して、受験生に限らず、教員や保護者、また1・2年生も歓迎する。

大学説明会では、いち早く次年度の入試関連情報を説明することが中心となるが、就職情報や在学生からのメッセージ（体験談）などもあり、受験生に大切な情報源となる。また、応援団から受験生にエールが送られ、厳しい受験戦争に勝てるよう応援することも恒例となった。

模擬授業もいくつか行われ、大学の講義を実体験できる。個別相談は、推薦入試など多様化する入試の情報や対応、卒業後の進路、さらにはキャンパスライフ（在学生が担当）など、個人的な疑問に答えるもので、利用者は非常に多い。

施設見学では、充実している図書館やパソコン教室が見どころである。イベントも豊富で、クラブ・サークル活動の紹介、応援団のエール、空手演武、学生バンドのライブ、自主映画の上映、等々、終日盛りだくさんのメニューが楽しめる。さらに、学生食堂での学食体験は、割引券が配布されることもあり、非常に盛況である。高校生には将来の大学キャンパスライフの体験となり、保護者には自分の学生時代を思い出す機会ともなっている。

高崎経済大学のオープンキャンパスの特徴は、在学生の多大な協力で成り立っていることである。各種イベントの計画と実行はもとより、学内ミニツアーのガイドや個別相談にまで積極的に参加する。市民に愛される経大生こそが、大学の主役であることが如実に現れており、高崎経済大学の魅力を示すものである。





## 『高崎経済大学五十年史-地域貢献の理想を求めて』の編集を終えて

前「高崎経済大学五十年史編集委員会」委員長 **武井 昭**

本年6月25日までに『高崎経済大学五十年史』の発刊に向けて、三年半前に「高崎経済大学五十年史編集委員会」が発足した。そのとき当時の学長の石井學先生より『都留文科大学五十年誌』が手渡され、これ以上のものに仕上げようという要請を受けた。

そこでまず、私は、『高崎経済大学三十年の歩み』と『高崎経済大学四十年の歩み』を編集された高階勇本学名誉教授から、四十年史の編集時に、集められた資料は、永久保存版の一部を除いて全部捨てられたということを知らされた。

この情報を下にして早速編集委員会を開き、その対策と出版までの基本方針を決めた。体裁はB5版・布張り・500頁・2000部で、四年制大学の歴史である本史に加えて、本学の前身の高崎市立短期大学の歴史を前史と位置づけ、さらに、付設の図書館、研究所、研究センター、附属高校、生協、学会、さらには(財)高崎経済大学後援会、同窓会などこれまで本格的に取り上げられることのなかった諸機関の歴史はもとより、学生団体の歴史に至るまで取り組むことした。また、発刊までの費用は、同窓会が大半を負担し、後援会と高崎市が残りを負担することになったこともあり、同窓生を中心にした「随想」を盛り込み、生の声を活かした親しみの持てるものにするにことにした。

編集責任者として、第一回から今日までの教授会および評議会の全議事録を繙き、さらにアルバイトを使ってこの五十数年間の「高崎市民新聞」と「上毛新聞」の二紙の切り抜きを行い、それを下に高崎市、群馬県、日本、世界の出来事を対比した前史および本史の詳しい年表を作ることに着手した。

本学は、地方の公立大学としては奇跡的な発展を遂げてきたが、その過程は波瀾万丈で、私の場合、草創期の大学紛争や二学部体制や大学院設置の頃に学生ないし教員として渦中にあったが、政治音痴のため主として産業研究所の活動に励んできたことから、サブタイトルの「地域貢献の理想を求めて」を躊躇なく決めることができた。

今後、次の百年史の発行に向けて、図書館内に「大学史資料室」(仮称)の設置に向けてスタートを切った。執筆者だけでも60人、協力していただいた人を入れると、ゆうに百人を超える人たちのお陰で発刊できたことをここに記し、心より感謝申し上げる次第である。

# 『五十年史』好評発売中

## ¥2,000(送料込)

詳しくは高経大学生課内同窓会事務局まで

TEL:027-344-6262

# 高崎経済大学沿革

高崎経済大学設立の淵源は、高崎市立短期大学に遡ります。

群馬県下にあった高等教育機関は、戦後の学生改革時の1949年、新生群馬大学として統合・発足しました。当時、高崎市は県下第一の商都にふさわしい経済学部を誘致を図ったものの、戦後の経済事情等から新設学部の設置は不可能でした。そこで、独自に1952年高崎市立短期大学を創設したのです。その後、経済発展等諸般の事情から、1957年に高崎市立短期大学を廃止し、4年制大学を設置することになり、高崎経済大学が経済学部経済学科として、1957年発足しました。

昭和27年 4月 高崎市立短期大学創立(高崎市高松町1番地)

昭和32年 3月 高崎市立短期大学廃校

昭和32年 4月 高崎経済大学創立(高崎市高松町1番地)

経済学部経済学科開設

附属図書館設置

附属産業研究所設置

昭和36年 4月 新校舎完成 移転(高崎市上並榎町1300番地)

昭和39年 4月 経営学科設置(経済学部)

平成 8年 4月 地域政策学部地域政策学科開設

平成10年 7月 附属地域政策研究センター設置

平成12年 4月 大学院地域政策研究科(修士課程)開設

平成12年 7月 附属情報センター設置

平成14年 4月 大学院地域政策研究科(修士後期課程)開設

大学院経済・経営研究科(修士課程)開設

平成15年 4月 地域づくり学科開設(地域政策学部)

平成16年 4月 大学院経済・経営研究科(修士後期課程)開設

平成18年 4月 観光政策学科開設(地域政策学部)



## 「節目の年」、高崎経済大学50周年記念式典を開催

全国公立大学の先駆けとして、1957年に誕生した高崎経済大学。2007年の今年、開学50周年という節目の年を迎えました。これを記念して6月25日、開学50周年記念式典などのイベントが、群馬音楽センターで開催されました。

式典には、高崎市長を始め国会議員、群馬県知事、県議会議員などの各来賓や大学関係者らが出席、会場内は全国からこの日を祝うために集まった、多くの同窓生で賑わいました。

式典は、開学から現在に至る大学の歩みを紹介する、「映像による50年」と題した映像から始まりました。続いて学長の式辞や来賓の祝辞、大学に貢献した人物への表彰などが行われました。また、開学50周年を記念したシンボルマークとロゴが発表され、制作者の須賀裕明さんの表彰式も併せて行われました。

記念式典に引き続き、元内閣総理大臣中曽根康弘氏と登山家の田部井淳子氏の講演が行われました。中曽根氏は、「若き君たちへ、日本と世界を語る」と題し、中国との友好、協力関係の必要性や外交の重要性を語り、田部井氏は、「世界の山々をめざして」と題し、自らが登った山々などの話を基に体験することの素晴らしさを語りました。実学主義と地域社会貢献を理念とする本学の節目にふさわしい両氏の講演となりました。

アトラクションとして、八木節を現代風にアレンジした高崎の新しい創作ダンスイベント、雷舞の演舞が行われ、華やかに50周年を祝いました。また、最後に高崎経済大学の伝統、応援団のエールが送られ、次の時代へ新たな一步を踏み出す大学の繁栄と発展を祈念しました。



# 平成19年度入学式

平成19年4月9日 於：群馬音楽センター

平成19年度の入学式が、4月9日(土)高崎市役所庁舎近くの群馬音楽センターで挙行されました。

式典においては、木暮学長の入学告示や、高崎市長をはじめとする来賓の方々より祝辞をいただき、盛大に執り行われました。

## 平成19年度入学状況(学部)

【入学者数】 ( )内は女子で内数

入学区分	経済学部 (定員:480人) 一般:380人・推薦100人	地域政策学部(定員:455人) 一般:300人・推薦95人 編転入35人 私費外国人留学生25人	合計 (定員:935人)
一般(推薦含む)	496(119)	441(164)	937(283)
私費外国人留学生	6(3)	29(14)	35(17)
社 会 人		2(1)	2(1)
帰 国 生 徒		1(1)	1(1)
2年次編入・転入	2(0)	13(10)	15(10)
3年次編入・転入		22(19)	22(19)
計	504(122)	508(209)	1,012(331)

## 平成19年度入学状況(大学院)

【入学者数】 ( )内は女子で内数

入学区分	経済・経営研究科		地域政策研究科		合計 (定員:49人)
	博士前期 (定員:20人) 一般10人 社会人10人	博士後期 (定員:4人)	博士前期 (定員:20人) 一般7人・社会人10人 私費外国人留学生3人	博士後期 (定員:5人)	
一 般	2(0)		7(1)		9(1)
社 会 人	2(1)	2(0)	8(2)	2(1)	14(4)
私費外国人留学生	5(3)		9(6)	2(1)	16(10)
計	9(4)	2(0)	24(9)	4(2)	39(15)

博士後期課題は、一般・社会人等の入試区分はなし。



## 高崎経済大学に入学して



経済学部1年 **吉田 由美子**さん

大学生活が始まって4ヶ月が経ちました。馴染みのない土地での生活であり、初めての一人暮らしでした。私は、新しい世界での生活に不安も自信もありませんでした。だけど、全て自分のことだから家事全般を一人でこなすことに抵抗はありませんでした。初めのうちは生活に慣れることに忙しかったため、流れるように時間が過ぎていきました。

大学に来て、私が一番大変だったことは、精神のコントロールです。私を悩ませた一番の原因は、大学では全てが自由だということです。高校生の頃は親や先生の目があり、様々な意味で制限がありました。しかし大学では、何をやっても自由だからこそ自己責任が伴い、自分を拘束するのは自分でしかありません。自分で決めたことを実行できない自分に腹が立って何度も自己嫌悪になりました。電話代を考えるといつも家族ばかりを頼るわけにはいきません。そんな中、自分の支えとなったのは、友達存在でした。ここの大学は、日本各地から学生が集まってきています。そのため、様々な価値観を持った仲間との交流が出来ます。生まれた場所も育った場所も違うはずなのに、悩みを打ち明け合ったりすると、不思議と共感できたりします。そんな仲間がいるからこそこの4ヶ月間を過ごしてこれたのだと思います。

この4ヶ月を踏まえて、今後は勉強や遊びに限らず、何に対しても自分で自分をコントロール出来るようになりたいです。それから、もっと時間を大切にしていきたいです。その時に自分のやるべきことを判断し、なるべく悔いの残らないよう生活していきたいと思います。卒業の時、今の自分よりも大きく成長した自分で卒業できることがここでの目標です。



## 新入生歓迎会を終えて

第50回三扇祭実行委員会委員長

地域政策学部3年 佐々木 清充さん

私共三扇祭実行委員会では、皆様からの多大なる御支援、御協力を受け、秋の三扇祭の他に毎年春には新入生歓迎企画を行っております。今年度は新入生が大学に慣れてもらうと共に、他の新入生や先輩とも交流を深めてもらう事を目標として活動してきました。

活動の1つ目として、新入生全員を対象としたガイドンスブックを作成しました。これには、新入生が大学に慣れ親しんでもらうための情報をはじめ、講義や部活・サークルの紹介に至る大学生活全般の情報を取り上げています。また、今年は在校生や先輩としての生活のアドバイス、群馬の紹介等様々な視点からの情報も多く掲載し、情報の充実を図りました。

また、4月10日に部活・サークル説明会を開催しました。これは、個々の部活・サークルがブースを設け、新入生に活動を紹介する場として企画しました。この企画では今年72団体が参加しました。今年天候にも恵まれ、新入生にとっては部活・サークルを知る良いきっかけになったのではないのでしょうか。

さらに、4月17日には新入生歓迎会を行いました。この日は、新入生への学生証交付の前後に三つの企画を行いました。午前中には「交流広場 in2号館」と題し、学生証交付が終わった新入生に2号館を開放し、ゲームをしたりビデオを見たりして、お互いに交流してもらおうという意図の企画を行いました。今年初めて行った企画でしたが、新入生同士で交流し、新たな友達を作るいい企画だったのではないかと思います。午後の「新入生歓迎講演会」では、本学の先生方に、大学でどんなことを、どのように学んだらいいかなどをテーマに講演を行って頂きました。その後には、生協2・3階を使用させて頂き、「立食パーティー」を行いました。今年の立食パーティーでも、新入生同士の交流をより深いものにするため、レクリエーション性を重視した、ビンゴやクイズなどの様々な参加型の企画を行いました。

次の企画として、4月28・29日に「新入生歓迎旅行」を行いました。この企画は今年で2回目となり、新入生同士が一泊二日で寝食をともにすることにより、お互いに交流してもらおうというものでした。また、今年、各学生団体の皆様にもご協力を頂き、先輩と交流する時間も設けました。

最後の企画として、5月12日には「ソフトバレーボール大会」を行いました。これは、唯一のスポーツ企画として、また、先輩と新入生が交流できる企画として多くのチームの参加を頂き、盛況のうちに終わることが出来ました。

最後となりましたが、今年の新入生歓迎企画を行うにあたり、大学側、そして体育会、応援団、文化サークル協議会、地域・経済両学部ゼミナール協議会、留学生交流会の各学生団体の皆様にも多大なご協力を頂きましたことをこの場を借りて厚くお礼申し上げます。また、今後とも実行委員会の活動に御指導、御支援の程宜しくお願い致します。







経済学部講師  
加藤 健太

### プロフィールと本学での抱負

青山学院大学経営学部卒業、明治大学大学院経営学研究科修士課程修了、東京大学大学院経済学研究科修士課程修了。戦前期日本経営史、戦後日本経営史、外国経営史を担当。主な研究領域はM&Aの歴史研究。過去の出来事を、今日のいろいろな問題（ライブドアによるニッポン放送株の大量取得とそれをめぐる一連の騒動、アルバイトや派遣社員など非正規社員の増加に伴う雇用システムの変化、そごうやダイエーの破綻に見られる流通業界の主役の交替などなど）と関連付けながら学ぶことで、学生のみなさんに歴史の面白さを伝えたいです。ただし、単に知識を身につけるだけでなく、学生のみなさんには、それを自分の意見として、自分の言葉で発信できるようになってもらいたいです。もちろん、人前で、自分の考えをはっきり伝えて、相手を納得させるのは簡単なことではありません。いろんな場面で議論しながら、いっしょに取り組んでいけたら、と思っています。



経済学部講師  
名和 賢美

社会学、社会思想史担当。一橋大学社会学部卒業、学習院大学大学院政治学研究科博士前期課程修了、一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了（社会学博士）。専門分野は民主政思想研究です。デモクラシーについて、古代ギリシアを皮切りに時代、社会を問わず調べています。また教養教育科目担当教員として、学生の皆さんが教養教育の必要性を実感できるような授業を目指しています。まだまだ試行錯誤中ですが、日本語の読み書きの訓練を積み重ねる機会が多くなるように、そして古典を読む楽しさ、難しさを伝えることができるように、尽力したいと思っています。



# 新学長就任に伴い、大学の新体制が発足しました

新学長の就任に伴い平成19年8月8日に開催された評議会並びに学部教授会、大学院研究科委員会において高崎経済大学の新体制が発足しました。

任期は平成19年8月9日から平成20年3月末までです。

## ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆平成19年度高崎経済大学役員◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

(平成19年8月9日)

学 長 吉 田 俊 幸

### 《部局長》

経済学部長  
 地域政策学部長  
 経済・経営研究科長  
 地域政策研究科長  
 学生部長  
 附属図書館長  
 附属情報センター所長  
 附属産業研究所長  
 附属地域政策研究センター所長  
 事務局長

石井 伸 男  
 大河原 眞 美  
 石川 弘 道  
 河 辺 俊 雄  
 大 宮 登  
 和 泉 清 司  
 山 本 喜 則  
 北 條 勇 作  
 原 田 寛 明  
 植 原 憲 秋

### 《評議員》

経済学部 中村 忠  
 経済学部 三浦 達 司  
 経済学部 矢野 修 一  
 地域政策学部 塩田 咲 子  
 地域政策学部 千葉 貢  
 地域政策学部 津川 康 雄  
 ※学長及び部局長は、評議員を兼ねる

### 《学科長》

経済学部経済学科長 富澤 一 弘  
 経済学部経営学科長 中村 彰 良  
 地域政策学部地域政策学科長 吉武 信 彦  
 地域政策学部地域づくり学科長 村山 元 展  
 地域政策学部観光政策学科長 津久井良 充

### 《各委員会委員長》

国際交流委員長 佐々木 茂  
 広報委員長 石井 久 子  
 経済学部学生委員長 池野 正 晴  
 地域政策学部学生委員長 細井 雅 生  
 経済学部就職委員長 大島 登 志 彦  
 地域政策学部就職委員長 西野 寿 章



## 日本ギター重奏コンクール第二位入賞をして

ギタークラブ 4年 神垣 学

この度、私たちギタークラブより代表で4名（松川・神垣・椎葉・佐々木）が、今年の6月24日（日）に東京で行われた第19回日本ギター重奏コンクールに四重奏で出場し、第二位という成績をおさめました。このコンクールは日本にいくつかあるギター重奏コンクールの中でも中心的な存在であり、歴代入賞者には村治佳織など現在プロギタリストとして活躍している人も多く、大学サークルでの第二位入賞は始めてのことであり、私たちとしてもこの快挙を大変名誉なことと感じています。

私たちがこのコンクールに出場を決めたのは去年の12月15日の定期演奏会が終わったときでした。それから6月までの半年間、普段のサークル活動に加え連日練習に励みました。特にメンバーの中に4年生が二人いたので就職活動とギターを両立させることが難しく、なかなか4人がそろって練習することができませんでした。5月に入りだいぶ就職活動も落ち着き、メンバーが集まれるようになり、今まで遅れていた分を取り返すため必死に練習しました。コンクール1ヶ月前には練習に熱が入り、夜が明けるまで練習したことも何回かありました。個人練習も寝る間も惜しみ、指の感覚が鈍るほど練習しました。この練習の日々を思うと、コンクールでの結果は努力の賜物であるあるとしみじみ実感できます。また、今回の経験のなかで仲間と力を合わせ一つの目標に向かって努力することの素晴らしさ、一人ひとりの意思疎通の難しさ、そして何より結果を出せたことの達成感というように多くのものを感じ取ることができました。

学生としての快挙をきっかけに我がギタークラブの発展をはかり群馬県だけでなく全国の学生のギター重奏に取り組んでいる人々に良い刺激となり、クラシックギターの普及の手助けができるよう新聞記事で取り上げてもらうなどの形で情報を発信しています。

そんな私たちギタークラブは現在総勢39名の大所帯サークルとして活発に活動しています。今年はコンクール出場を筆頭に、群馬県のギターの普及を目的としたフェスティバルの開催（9/29）、全国合奏フェスティバルの参加、そして12月1日の第43回定期演奏会というのが主だった演奏活動の予定であり、そのほかにも慈光通り商店街の川と道の情報館におけるミニコンサートも定期的に行っています。新たな試みとして高崎市役所のロビーにおけるミニコンサートと群馬シンフォニーホールでのコンサートなどを企画中です。43年の歴史あるサークルとして、これからも私たちギタークラブは部員一丸となって更なる発展を目指し精進してまいりますのでこれからも応援よろしくお願ひします。





## 第34回 鶴鷹祭試合結果

平成19年6月23・24日 於：都留文科大学

今年で34回目を迎える都留文科大学・高崎経済大学総合体育対抗戦、「鶴鷹祭」が今年も開催された。2連勝を目標に敵地へ乗り込んでいったが、総合戦績10勝12敗で惜敗した。

	高経大→都留大	MVP	敢闘賞
空手道	○ 3-2 ●	青木 純	林 裕樹
弓道	○ 117- 79 ●	大関 真	岡田 陽太
剣道(男)	○ 3-2 ●	関 健作	本多 孝行
(女)	● 1-2 ○	佐藤 有紀	戸部 愛香
硬式庭球(男)	○ 7-2 ●	大部 裕稔	滝澤 陽
(女)	● 3-4 ○	川崎 倫	滝沢 愛
サッカー	○ 1-0 ●	福島 和也	川口 真悟
準硬式野球	● 5-19 ○	的場 弘晃	和田 友樹
ソフトテニス(男)	○ 3-2 ●	瀬在 亮太	山岸 亘
(女)	○ 2-1 ●	竹内 宏恵	岩見 香里
ソフトボール	● 4-9 ○	田後 洋平	浅野 雄太郎
卓球(男)	● 1-4 ○	豊田 賢輔	清水 浩彰
(女)	○ 3-1 ○	荒井 智美	平山 芳依
バスケットボール(男)	○ 83-54 ●	島田 雅規	野坂 剛志
(女)	● 52-90 ○	長田 梓	中澤 涼
バドミントン(男)	● 1-4 ○	横山 幸祐	佐伯 慶太
(女)	● 0-5 ○	小牧 佳代	中村 真侑子
バレーボール(男)	● 0-3 ○	与那覇 雅康	屋 克俊
(女)	● 0-2 ○	小野 友紀	鈴木 祥子
ハンドボール	● 17-24 ○	柳澤 恭平	角谷 秀平
ラグビー	○ 45- 0 ●	大井 崇行	志村 卓哉
陸上競技	● 27-31 ○	岩下 剛志	堀内 隆広
総合成績	10-12	総合準優勝	

は高経大の選手。



# 平成18年度 経済学部 就職状況

学生生活

項目	男	女	計	備考		項目	男	女	計	備考
卒業予定者 A	460	153	613			農林漁業	0	0	0	0.0%
留年者 B	62	5	67			鉱業	0	0	0	0.0%
卒業生 C	398	148	546	(A-B)		建設	19	1	20	4.4%
就職希望者 D	333	127	460			食品製造	5	1	6	
進学希望者 E	19	10	29	29		繊維工業	0	0	0	
(内大学院進学者)	9	7	16			繊維製品	1	0	1	
その他 F	46	11	57	57	計 86	出版印刷	3	2	5	
就職者 G	328	127	455	98.9%(G/D)		化学製品	4	1	5	
大企業	199	73	272	59.8%従業員>=500		石油製品	0	0	0	
中企業	94	33	127	27.9%従業員>=100		鉄鋼製品	1	0	1	51(15)
小企業	21	19	40	8.8%従業員<100		非鉄金属	0	1	1	11.2%
国家1種	0	0	0	2(1) 0.4%		金属製品	3	1	4	
国家2種	0	1	1			一般機械器具	2	1	3	
国家3種	0	0	0			電気機械器具	6	3	9	
その他国家	0	0	0			輸送用機械	2	3	5	
国税関係	1	0	1	14(1) 3.1%		精密機械	1	0	1	
地方上級	0	0	0			その他の製造	8	2	10	
地方中級	0	0	0			卸売業	25	8	33	85(26)
地方初級	0	0	0			小売業	34	18	52	18.7%
警察関係	6	0	6			銀行・信託銀行	49	14	63	
市町村	7	1	8			証券・商品取引	21	9	30	154(43)
教員(私立含む)	0	0	0			0.0%	生保・損保	3	4	7
地方名	求人会社数	地域別就職数	地域別就職率%	その他の金融		38	16	54		
				不動産業		10	1	11	2.4%	
	%			運輸業		14	1	15	16(2)	
北海道	35	1.5	7	1.5	通信業	0	1	1	3.5%	
東北	77	3.3	22	4.8	電気ガス水道	3	0	3	0.7%	
群馬(高崎以外)	148	6.4	61	13.4	医療サービス	3	4	7		
高崎	66	2.8	22	4.8	法務サービス	0	0	0		
関東	244	10.5	47	10.3	教育サービス	1	3	4	99(37)	
東京	1,052	45.3	191	42.0	宗教サービス	0	0	0	21.8%	
甲信越	105	4.5	22	4.8	非営利団体	2	0	2		
北陸	89	3.8	13	2.9	その他サービス	41	20	61		
東海	168	7.2	30	6.6	情報処理	15	10	25		
近畿	248	10.7	29	6.4	国家公務員	1	1	2	0.4%	
中国	40	1.7	5	1.1	地方公務員	13	1	14	3.1%	
四国	19	0.8	2	0.4	計	328	127	455	100.0%	
九州	32	1.4	4	0.9	(内は女子)					
国外	1	0.0	0	0.0						
計	2,324	100.0	450	100.0						

# 平成18年度 地域政策学部 就職状況

項目	男	女	計	備考	項目	男	女	計	備考
卒業予定者 A	257	137	394		農 林 漁 業	0	0	0	0.0%
留 年 者 B	29	9	38		鉱 業	0	0	0	0.0%
卒 業 者 C	228	128	356	(A-B)	建 設	6	7	13	4.3%
就職希望者 D	200	111	311		食 品 製 造	5	4	9	43(11) 14.1%
進学希望者 E	13	7	20	20	織 維 工 業	0	0	0	
(内大学院進学者)	10	5	15		織 維 製 品	5	0	5	
そ の 他 F	15	10	25	計 45	出 版 印 刷	6	1	7	
就職者 G	195	109	304	97.7%(G/D)	化 学 製 品	1	2	3	
大 企 業	122	54	176	57.9%従業員>=500	石 油 製 品	0	0	0	
中 企 業	38	38	76	25.0%従業員>=100	鉄 鋼 製 品	0	0	0	
小 企 業	15	12	27	8.9%従業員<100	非 鉄 金 属	0	0	0	
国 家 1 種	0	0	0	3(0) 1.0%	金 属 製 品	0	1	1	
国 家 2 種	2	0	2		一 般 機 械 器 具	3	0	3	
国 家 3 種	0	0	0		電 気 機 械 器 具	1	1	2	
そ の 他 国 家	1	0	1		輸 送 用 機 械	3	0	3	
国 税 関 係	0	0	0	19(4) 6.3%	精 密 機 械	1	2	3	
地 方 上 級	1	0	1		そ の 他 の 製 造	7	0	7	
地 方 中 級	0	1	1		卸 売 業	12	8	20	
地 方 初 級	0	0	0		小 売 業	23	21	44	
警 察 関 係	8	1	9		銀 行・信 託 銀 行	34	15	49	
市 町 村	6	2	8	証 券・商 品 取 引	2	2	4		
教 員 (私 立 含 む)	0	0	0	0.0%	生 保・損 保	3	1	4	
地 方 名	求人会社数	%	地域別 就職数	地域別 就職率 %	その他の金融	15	10	25	2.0%
					不 動 産 業	4	2	6	
					運 輸 業	12	6	18	19(6)
北 海 道	35	1.5	5	1.6	通 信 業	1	0	1	6.3%
東 北	77	3.3	21	6.9	電 気 ガ ス 水 道	2	1	3	1.0%
群 馬 (高 崎 以 外)	148	6.4	63	20.7	医 療 サ ー ビ ス	0	2	2	52(21) 17.1%
高 崎	66	2.8	14	4.6	法 務 サ ー ビ ス	0	0	0	
関 東	244	10.5	26	8.6	教 育 サ ー ビ ス	0	1	1	
東 京	1,052	45.3	99	32.6	宗 教 サ ー ビ ス	0	0	0	
甲 信 越	105	4.5	26	8.6	非 営 利 団 体	2	1	3	
北 陸	89	3.8	12	3.9	そ の 他 サ ー ビ ス	15	13	28	
東 海	168	7.2	18	5.9	情 報 処 理	14	4	18	
近 畿	248	10.7	16	5.3	国 家 公 務 員	3	0	3	
中 国	40	1.7	4	1.3	地 方 公 務 員	15	4	19	
四 国	19	0.8	0	0.0	計	195	109	304	100.0%
九 州	32	1.4	0	0.0	( )内は女子				
国 外	1	0.0	0	0.0					
計	2,324	100.0	304	100.0					

学生生活



## ■建設業

栃木セキスイハイム(株) (株)一条工務店群馬 大和ハウス工業(株)両毛営業所 積水ハウス(株)(2) 四季の住まい(株) (株)協和エンオ(株)トーエネック (株)きんでん(2) 大和ハウス工業(株)(4) パナホーム(株)(2) 富士ハウス(株) 日本電設工業(株) 長野中央ホーム(株) トヨタホーム(株)

## ■製造業

(株)伊藤園 (株)ブルボン (株)ベストフーズ サッポロ飲料(株) (株)三ツ和 (株)小布施堂 津田駒工業(株) 図書印刷(株) トパン・フォームズ(株) (株)北國新聞社 パリッシュ出版(株) (株)プレステン エーザイ(株) 中外製薬(株)(2) トーアエイヨー(株) 群衆商事(株) 大同特殊鋼(株) DOWAホールディングス(株) 日本発条(株) 日本フルハーフ(株) 小名浜合板(株) 丸栄工業(株) 濠谷工業(株) (株)アルバック (株)前川製作所 三益半導体工業(株)(2) アルプス電気(株) 日本電気(株) (株)日本デジタル研究所(2) (株)福井村田製作所 東邦工業(株) ツインバード工業(株) (株)ミツバ 石川島播磨重工業(株) スズキ(株) アイシン精機(株) (株)エフテック 日本電産(株) 大王製紙(株) 東京特殊硝子(株) アルバック成膜(株) アトミクス(株) タカノ(株) トヨタ紡織(株) (有)多田プレジジョン (株)アビステ (株)三景 石川島運搬機械(株)

## ■卸売業

岩瀬産業(株) 太田物産(株) (株)フジコム 群馬ビーエス(株) 群馬リコー(株) 住商液化ガス(株)中央 カンサン(株) 西華産業(株) (株)ヤナセ (株)菱食 ナイス(株) 椿本興業(株) 轟産業(株) 安藤(株) ダイワボウ情報システム(株) (株)日本エム・ディ・エム (株)中松商会 サンリン(株) (株)パスポート 松下制御機器(株) (株)カクヤス (株)スギ薬局 東日本エア・ウォーター・エネルギー(株) フィリップモリスジャパン(株) (株)栃本大海堂 富山中央水産(株) 東京国分(株) (株)バルタック茨城(株) (株)旭興進(株) トシ・グループ(株) (株)トウシヤ (株)イーシーテイズドットコム

## ■小売業

(株)フレッセイ(株)ヤマダ電機(株) 株式会社(2) (株)ヤオコー イオン(株) (株)セブン-イレブン・ジャパン (株)長崎屋 日本生活協同組合(連) 愛知トヨタ自動車(株) (株)ローソン(2) (株)マヤカ (株)カインズ(2) 群馬トヨタ自動車(株) トヨタカローラ高崎(株) (株)プレナス(株) 松屋フーズ(3) 中部自動車販売(株) (株)クスリ(株) 成城石井(株) 富士薬品 (株)カワチ薬品 (株)ドン・キホーテ (株)ファーストリテイリング ミニストップ(株) (株)レイズインターナショナル 富士スバル(株) (株)関東マツダ (株)はせかわ 丸紅インフォテック(株) 富士ゼロックス群馬(株) モトーレンニイカタ(株) (株)示野薬局 ネットトヨタ石川 (株)ジャパニマジェネーション (株)カーテン・じゅうたん王国 サトーカメラ(株) (株)フードスコープ (株)千成 元気寿司(株) (株)小森テレネット (株)ビッグ・エー トヨタUグループ (有)大和企画 (株)関東島忠

## ■金融業

(株)北洋銀行 (株)北海道銀行 (株)青森銀行(3) (株)みちのく銀行(株)北日本銀行(株)七十七銀行(3) (株)仙台銀行(株)岩内銀行(株)山形銀行(株)大東銀行(株)東邦銀行(株)関東つば銀行(株)常陽銀行(9) (株)栃木銀行(2) (株)群馬銀行(7) (株)東和銀行(2) (株)千葉銀行 国民生活金融公庫(株)三井住友銀行(2) 中小企業金融公庫 日本銀行(北越銀行(株)北陸銀行(2) (株)長野銀行(3) (株)八十二銀行(2) (株)大垣共立銀行(株)十六銀行(2) (株)静岡銀行(株)清水銀行(株)百十四銀行(株)三菱東京UFJ銀行(株)りそなホールディングス(2) (株)みずほ銀行(株)南日本銀行 日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (株)みずほフィナンシャルグループ 岡三証券(株)(4) みずほインベストメント証券(株) 大和証券(株)(5) 東海東京証券(株) 日興オディアル證券(株)(4) 丸三証券(株)(2) 水戸証券(株) 新光証券(株)(4) SMBCフレンド証券(株)(2) スターツ証券(株) 三菱UFJ証券(株)(4) 山二証券(株) 朝日生命保険(相)(2) 全国労働者共済生活協同組合連合会(全労済) 明治安田生命保険(相) (株)損害保険ジャパン(2) 全国共済水産業協同組合連合会 全国共済農業協同組合連合会 岩手県本部 岩手県信用農業協同組合(連) 福島信用金庫 アイオー信用金庫 桐生信用金庫(7) 群馬県信用組合 利根郡信用金庫 東群馬信用組合 ぐんま信用金庫 埼玉縣信用金庫(2) (株)ジェシービー (株)ジャックス 中央労働金庫(6) 東京信用保証協会 川崎信用金庫 三条信用金庫 山梨信用金庫 上田信用金庫 長野県信用組合 松本信用金庫(2) 岐阜信用金庫(2) 静岡県労働金庫 (株)セントラルファイナンス 播州信用金庫 高崎信用金庫(2) かんら信用金庫(3) 岡崎信用金庫(株)SFCG 三井住友カード(株) 埼玉県信用保証協会 信金中央金庫 多野信用金庫(2) のと共栄信用金庫 砺波信用金庫(株)クオーク 都留信用組合

## ■不動産業

(株)レオハウス21 オークラヤ住宅(株) 東急リパブル(株) 住友不動産販売(株) (株)ジョイント・レント (株)ユニホーム (株)タイセイ・ハウス すみしん不動産(株) (株)山晃住宅 TFDコーポレーション (株)ABCホーム

## ■運輸・通信

群馬日産自動車(株)(2) 日本通運(株)(2) 東日本旅客鉄道(株) 鈴与(株) (株)新井商運 (株)エイチ・アイ・エス クラブツーリズム(株) 日本梱包運輸倉庫(株) 静岡鉄道(株) トップツアー(株) (株)JTBS西日本 群馬丸太運輸(株) (株)ホンダロジスティクス(株)光通信

## ■電力・ガス

北海道電力(株)(2) 山二ガス(株)

## ■サービス業

北海道厚生農業協同組合連合会 (医)成仁(株)アサンテ 医療法人社団博博会 神奈川クリニック(2) 神戸赤十字病院 群馬県医師国民健康保険組合(学)学文館(株)早稲田学習研究会(W早稲田ゼミ) KTC外語学院(株) 新風学院 独立行政法人労働者健康福祉機構 福島県市町村職員共済組合(株)バツナ(2) (株)メモリド(3) (株)ガイア(2) ELBEC教育図書センター(株) (株)マラン(株)三経フードサービス(株)電通(株)ミニミニ 毎日コミュニケーションズ(株) カトープレジャーグループ(株) 新東通信 リゾートトラスト(株) 大和商事リース(株) (株)NOVA (株)ジャックパ (株)さくら会計 日本電気計器検定所(株)カネコ・コーポレーション(株)シーテック(株)アクセスコポレーション ピーアークホールディング(株)(2) (株)ビデオリサーチコムハウス(株)東電ホームサービス(株)ダイエー (株)エイブアップハウス(株)ワイズマン (株)アバマンショップネットワーク(株)中沢ヴィレッジ(株)リクルートエージェント ウッドオフィス(株) (株)モスキート(株)人間開発(久野康成公認会計士事務所)(2) (株)キャリアアデザインセンター NTTファイナンス(株) (株)チェンジマネジメントシステム(株)ぐるなび(株)ジイブレイン ティップ(株) (株)ティラノ(株)エビキタスエナジー 大島公認会計士事務所(株)フィデック ヒューマンリソシア(株) 大部販売(株) ジョック(株) (株)テレウェイブ(株)FMたまむら 全国農業協同組合連合会青森県本部(株) 群馬経理 東京CRO(株) (株)アイディーエイ 柴田会計事務所(株)オメガコンサルタンツ(株)テラ 仏壇と香りのあすか(株)

システム・アルファ(株) (株)インテック エン・ジャパン(株) (株)高崎共同計算センター 本島ビジネスセンター(株) 投稿コン  
ピュータサービス(株) 高崎支店 (株)アグレックス (株)富士通大分ソフトウェアラボラトリ (株)菱友システムズ グッド・コミュニ  
ケーション(株) DIRシステムテクノロジー(株) パシフィックシステム(株) SBS情報システム 日本ビジネスシステムズ(株)  
(株)シジャム・ピーティービー (株)NTTデータクイック 住信情報サービス(株) (株)アトラ・アシアー (株)システムブレン (株)  
東京システムリサーチ (株)スローアイ アルファソフトウェア(株)熊谷 NTTデータソリューション(株) 日本インサイテックロー  
ジ(株) (株)グッドウィル・エンジニアリング

■公務

財務省 関東越国税務局 札幌市役所 北海道警 山形県警 足利市役所 群馬県警(3) 広島県警 高崎市等広域消防局(2)  
玉生町役場 下野市役所 富士宮市役所 山口市消防本部

平成18年度業種別就職状況 **地域政策学部**

( )内の数字は複数

■建設業

群馬セキスイハイム(株)(2) (株)ヤマト 新菱冷熱工業(株) 積水ハウス(株)(3) ニューハウス工業(株) 独立行政法人水資源  
機構 ミサワホーム西関東(株) トヨタホームはやて(株) 首都圏松下電材システム(株) 鉄建建設(株)

■製造業

三國コカ・コーラボトリング(株) 麒麟麦酒(株) (株)ロッテ 北陸コカ・コーラボトリング(株) ハルナビパレッジ(株) オリヒロ  
(株) (株)スギヨ ニチフリ食品(株) (株)スマイルズ (株)アサヒ 津田駒工業(株) 日本バイリーン(株) 片倉工業(株) (株)  
丸八真綿 (株)千代田グラビア 凸版印刷(株)(2) (株)若草印刷 トーイン(株) (株)岐阜新聞社 廣川(株) (株)ボーラ化粧品  
本舗 塩野義製薬(株) 田辺製薬(株) 群馬精工(株) 日本精機(株) ヤンマー(株) (株)コロナ (株)明電舎 (株)サン電子  
(株)ミツパ(2) スズキ(株) 新光電気工業(株)(2) (株)シンエイ・ハイテック 前澤化成工業(株) (株)岡村製作所 河合楽器製  
作所 福島キヤノン(株) 日本フェルト(株) トヨタ紡織(株) (株)美山化工

■卸売業

敦井産業(株) 藤井産業(株) 岩瀬産業(株)(3) 群馬県卸酒販(株) 群馬リコー(株)(2) ナイス(株) アルビス(株) (株)成電  
水(株)ムトウ 関東醸造(株) 日立コンシューマ・マーケティング(株)(2) トラスコ中山(株) 関東食品(株) (株)サンエス  
フードリンク(株) (株)スターゼン

■小売業

(生協)コープさっぽろ (株)ニトリ (株)ヤマザワ (株)ヨークベニマル (株)ベイシア 日産部品福島販売(株) (株)とりせん  
(株)文真堂書店 (株)ヤマダ電機 (株)バルコ (株)ビックカメラ (株)三貴 (株)ムウ 豊長自動車販売(株) (株)ローン  
(株)マイカル (株)アスティ トヨタカラー高崎(株) ネットトヨタ高崎(株) 青山商事(株)(2) (株)クスリのマルエ(2) (株)ト  
ン・キホーテ (株)シャノール (株)原信 (株)たちばな マックスバリュ東北(株) (株)ジンス 花王販売(株) 富士ゼロックス  
群馬(株) (株)あさひ (株)ホンダカーズ群馬中央 トーヨータイヤ関東販売(株) (株)AOKIホールディングス 東海ペプシコー  
ラ販売(株) 神奈川タイハツ販売(株) (株)キャロッセ (株)SOU (株)協和バックス (株)セキ薬品 ホンダ自動車販売(株) (株)  
紀伊國屋書店 (株)ドリームコーポレーション

■金融業

(株)北洋銀行(2) (株)青森銀行(2) (株)岩手銀行 (株)七十七銀行 (株)秋田銀行(3) (株)荘内銀行(2) (株)山形銀行(2)  
(株)福島銀行 (株)関東つくば銀行 (株)足利銀行 (株)栃本銀行(2) (株)群馬銀行(9) (株)東和銀行(4) 国民生活金融公庫  
(株)第四銀行(2) (株)富山第一銀行 (株)北陸銀行 (株)北國銀行(2) (株)山梨中央銀行(3) (株)八十二銀行(3) (株)愛知  
銀行 (株)百五銀行(2) (株)紀陽銀行 (株)北都銀行 岡三証券(株) みずほインベスターズ証券(株) 大和証券(株) 日興  
コーディアル証券(株) 全国共済農業協同組合連合会群馬県本部 アリコジャパン生命保険会社 第一生命保険(相) ぐんま共済 群  
馬県火災商工共済共同組合 茨城県信用組合(2) 水戸信用金庫 桐生信用金庫(3) 群馬県信用組合(2) ぐんま信用金庫 (株)  
ジャックス 中央労働金庫(3) 新潟県信用農業協同組合連合会 長野信用金庫 岐阜信用金庫 豊川信用金庫  
かみら信用金庫(2) 青木信用金庫 京都北都信用金庫 鳥取県信用農業協同組合連合会(JA鳥取信連) 富士信用金庫 埼玉信用  
組合

■不動産業

(株)レオパレス21 (株)エム・シー・コーポレーション 野村不動産アーバンネット(株) (株)オープンハウス (株)ウィンドコー  
ポレーション (株)エイブル

■運輸・通信

日本通運(株)(2) (株)JTB 東日本旅客鉄道(株)(5) 鈴与(株) (株)エイチ・アイ・エス(2) クラブツーリズム(株) (株)JTB関  
東 遠州鉄道(株) (株)JALスカイ名古屋 (株)ジャルツアーズ カリッパ(株) 篠崎運輸(株) 東日本電信電話(株)

■電力・ガス

東北電力(株) (財)関東電気保安協会 福徳設備工業(株)

■サービス業

(社)福 群馬警察護国 医療法人社団 博博会 神奈川クリニック (株)開倫塾 彩の国さいたま総合型地域スポーツクラブ・フォル  
テ (社)福 吉岡会 吉岡町第二保育園 社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会 (株)パソナ 群馬テレビ(株) (株)メモ  
リード(2) (株)ネクシアーズ (株)日立ビルシステム(2) (株)スタジオアリス (株)カネコ・コーポレーション (株)フライングガ  
ーデン (株)ホンダ産業 NEXUS(株) 新潟県総合生活協同組合 (株)インテリジェンス JACジャパン (株)ジュビターテレコム  
(2) (株)ニューコーポレーション 東急リネンサプライ(株) 全国農業協同組合連合会新潟県本部 日本興亜キャリアスタッフ(株)  
(株)JALビジネス (有)SJP (株)アイライン (株)ミズノ マチダマーケティング(株) (株)ビー・ブレン (株)ティスコ ソフト  
ウェア興業(株) トランスコスモス(株) (株)インテック ハイテックシステム オープンシステムテクノロジー(株) ウェブテクノロ  
ジー(株) (株)プランニング (株)ソフトウェアコントロール (株)マルゴシステム アルス(株) (株)アイレップ (株)PUC 日本ア  
クア開発(株) (株)コナミデジタルエンタテインメント 茨城日立情報サービス(株) 龍高ネットワーク(株) (株)アクシス (株)トッ  
パン・マルチソフト

■公務

財務省 経済産業省 日本郵政公社 群馬県警(7) 群馬県庁 渋川市役所 警視庁 新潟市役所 石川県庁 須坂市役所 愛知  
県警 高崎市役所 上野村役場 北群山市役所 茅野市役所 鳩ヶ谷市役所

学生生活

# 卒業生訪問

家電メーカーに勤務。昨年定年退職後、現在小規模商社勤務

昭和45年3月経済学部卒

中谷 泰治 さん



在校生の皆さん、はじめまして。略歴ですが、三十六年の家電メーカーで工場の生産管理、資材管理一筋、六年間北京赴任。帰任後マレーシア工場等海外工場指導後、定年退職。現在の商社で六社の中国地場企業相手の部門長をしています。

今までの人生を振り返ると、一言で、「迷いと決断」のスパイラルの人生であつたと思います。迷い、考え、決断し、一旦はそれで良いと思ったものが状況が変わると新たな迷いを生じ、更に考え、決断をする・・・その繰り返しです。しかも時には負のスパイラルだったりプラスのスパイラルだったりです。世の中には立派な方も多いと思いますが、私は、生身の人間で、感情に左右されたり、時に正義感に燃え、時に欲に駆られたり、自己中の保身から判断したり。普通の人はそんなものではないか思います。「三つ子の魂、百まで」と言いますが既に在校生の皆さんも人間として一生を貫く性格なり人生観は出来ていると思います。従って、これからはいろいろな機会に出会い、どのように判断するか、それが今後の人生を左右すると思います。判断力を養うためには読書も役立ちますし、知人、友人との交流、熟慮も必要です。また、職業に就けば人間関係を良好に保つ事は必須です。他人に好かれる素直な心、自立心、向上心、好奇心・・・それぞれ必要です。またこれからは益々、海外と関わらざるを得ません。特に英語、中国語が必要です。特に二十歳台に本気に習えば必ず身に着きます。自己への投資と思ってお金をかけてでも学んでください。この二言語有れば世界はどこへでも一人で行けます。言葉を学んでグローバルな交流を持てば考え方の多様さ、複雑さも理解でき、それだけ人としての多面さ、深さにもなります。

最後に私が結婚する時、知人の牧師の方にアドバイスして頂いた一言を紹介します。

「どんな社会的成功も家庭の失敗を償えない」 百人居れば百とおりの人生が有りますが、この言葉だけは誰にも当てはまるようです。

以上



## 卒業生訪問

平成19年6月 株式会社インテリジェンス入社

平成17年3月地域政策学部卒業

平成19年3月地域政策研究科修了

渡邊 大輔 さん



思い返してみると、私の高経生活はNPO 法人DNA 一色だったといっても過言ではない。たくさんの魅力的な社会人に出会った。中国の農山村含め様々な地域に行かせて頂いた。そして、たくさんのかげがえのない素晴らしい仲間ができた。高経・大宮ゼミ・DNAでの体験は、社会人となった今でも一番の宝物である（サークルは、主にESUとジャズ研）。

DNA 設立の構想は大学3年の10月、大宮登教授と高崎で飲んでいる時に生まれた。なぜ、若者のキャリア支援に取り組むNPOを創りたいと思ったのか。その理由は、1つは「社会力」、「キャリアデザイン力」がなかなか育たない社会構造に対する問題意識と、もう1つは個人的な想いがあったからだ。

これまで、特に大学1・2年までは、自分の興味のわくもの、やりたいことに色々手を出してきた。しかし、そのほとんどが中途半端で終わり、大学生活の中で何か1つでもいいから本気で、夢中になって、納得のいくまでやり遂げたい、カタチに残せることをやりたいと思っていた。そんな折に大宮ゼミに入ったことが、社会活動に関わる直接的なキッカケとなった。様々な活動を通して多くの社会人に出会うことで、そこから得る楽しさや苦勞、そういったものを発信してみたいと思った。自分というものを真剣に本気で考えはじめるキッカケにもなり、大学1年間だけで終わらせたくないという気持ちが日に日に強くなった。ゼミの活動を、研究室の枠をこえて、大学の枠をこえて、地域の枠をこえて、多くの「点」在する若者の力を、「線」として結び、「面」として地域・社会に波及させたい、そして、大宮先生に勇気づけられ、仲間を支えられNPO 設立を決意したのである。結果的に、既存事業のCANWORKやラジコム、まちづくりの拡大に加え、ジョブカフェやSIFE、若チャレなど、新しい社会活動やワクワクするネットワークを創出することができた。

キッカケ、出会い、仲間、そして多くの失敗からの学び。私が学生時代に得たものである。後輩のみなさんには、どんなことでもよいからチャレンジしてほしい。とことん仲間と考え抜いてほしい。最後までやり抜いてほしい。大学はまさに、「学び、育ち、巣立ちの場」である。こんなにも身近に、素晴らしい環境があるのだ。自分はこうしたいという未来図、自己イメージ、働く姿は、失敗体験なしでは生まれない。そして自信とは、根拠のない自己暗示ではなく、地道に、現実に努力を積み上げてきた結果、確かなものとなるのだから。

## ワンダーフォーゲル部

こんにちは、ワンダーフォーゲル部です。みなさん、ワンダーフォーゲルってご存知でしょうか。ほとんどの人は聞いたこともないのではないのでしょうか。私自身も大学に来て初めてその言葉を耳にしました。ワンダーフォーゲルとは、ドイツ語で渡り鳥という意味で、その活動内容は登山を始め、沢登りやマウンテンバイクなど各大学により様々です。その中でも私たち高崎経済大学ワンダーフォーゲル部は年に5～6回合宿を行い、もっぱら山に登り続けています。泊数は3泊4日のテント泊を基本とし、長いときには5泊6日～6泊7日山ごもりの生活を続けています。そのため、山でバテずに無事合宿を終え、何よりも安全に山を楽しむために、月、火、木、金の週4日のトレーニングを基本とした活動をしています。内容は主にランニングと筋トレで、たまに息抜きとして球技を行ったり、合宿ごとに少林山という場所へ行き、8キロの荷物を背負って階段を昇り降りしてより実践的なトレーニングを行っています。

登山というスポーツはまだマイナーであり、おじさん、おばさんのやること、謎多きものに感じている人がいるのではないかと思います。でも決してそんなことはありません。サッカーやバスケといった競技も実際にやってみないとその面白さがわからないように、登山という非競技のスポーツもやってみないと、実際に登ってみないと分からないことが多いと思います。そんな登山の魅力はやはり山頂での景色です。仲間と共にかんがって登り、言葉に出来ないのが苦しいくらい素晴らしい景色を見て、仲間とともに喜び合う…本当にプライスレスです。そんなときは、本当にこの部活に入って、続けてよかったと感じます。そんな素晴らしい経験が出来、最高の仲間ができるのが高崎経済大学ワンダーフォーゲル部です。常に全員が主役であり続ける、そんな「チーム・ワンゲル」を今後ともよろしくお願いします。(ワンダーフォーゲル部幹事長 地域政策学部3年 土屋貴宣)



こんにちは、国際政治経済研究会（IPE）です。現在、私たちは26人の部員で活動しています。「IPEってどんな活動しているの?」と思っている人も多いことでしょう。活動内容は火曜日の部会、週1回の勉強会、論集発行、夏季合宿、三扇祭への出店などがあります。そして今年は上記の活動に加えて、議会傍聴、新聞発行、春季合宿、論集発行を年2回から4回への変更を考えています。今年はこのような対外的な活動を行い、多くの人々にIPEの活動を知ってもらいたいと考えています。活動内容を見ると固いサークルのように思われますが、飲み会やその他のイベントも多く、楽しいサークルです。

IPEには知識の差、興味の分野も異なるさまざまな人がいます。よく言えばいろんな人がいて多様な考えの人がいます。悪く言えばまとまりがないように思われますがいろんな人がいることによって多くに刺激があり、そのことが部員一人一人を成長させると思います。また、そのために勉強会は班ごとに国際関係、公務員試験対策、経済、政治といった具合にテーマが異なっており、それぞれが興味のある分野を調査研究し発表しています。

最後になりますが政治経済は私たちの生活の中で不可欠なものであり、政治経済両面においてグローバル化が進む現在においてこれらを国際的な視点から見ることは非常に大切です。私たちの論集などを読んで政治経済に少しでも興味を持っていただければ幸いです。また、興味がある人はぜひ部室を訪れてみてください。

(国際政治経済研究会幹事長 地域政策学部3年 佐藤 澄直)





## 大阪府

経済学部3年 庄司 真人さん

自分の故郷は大阪府です。大阪のことを知らない人はいないと思いますが、少し大阪について紹介したいと思います。

大阪は、古くからその土地柄、商業の都として栄え、江戸時代には天下の台所と称されたように日本経済の中心地として隆盛を誇りました。また、商業の中心地という一面だけでなく、上方落語に代表される文化の発信地としての側面も併せ持つ地であることを忘れてはなりません。この文化は現在に至るまで吉本新喜劇などを通じて脈々と受け継がれており、世に言う大阪人の人格形成に大きな役割を担っているといえます。今まで大阪について紙面の関係上相当に省略して歴史的な側面から主に紹介してきましたが、紹介するに当たって欠かすことのできないものは、やはり大阪の地を支える大阪人であります。では、私も含む大阪人について少しだけ紹介させていただきます。

大阪人には独特の気性があります。具体的には、お金に厳しく、阪神を愛し、人にあたたかいが、大阪弁をけなされることをひどく嫌う、といったようなものでしょうか。あと、笑いに厳しいとか、味にうるさいというものもこれに含まれるでしょう。そのほかにもいろいろとありますが、この単純には言い表すことのできない気性が人情の街といわれる大阪の一種独特の雰囲気を作り上げているのだと自分は考えています。そして、我々大阪人に大阪で生まれ育ったことに一種の誇りを持たせているのだとも。

大阪にはほかの土地にはないあたたかさがあります。そして、この限られた紙面では到底書ききれないほどのたくさんの魅力がいっぱいに詰まっています。皆さんもそんな大阪を一度でいいからぜひ訪れてみてください。きっと新たな発見があるはずですよ。



## ボリビア共和国

地域政策学部1年 YARA HIGA MEGUMI さん

Hola! こんにちは。

ボリビア共和国は、南米大陸の中央に位置する国土面積が日本の約3倍、世界では27番目に大きい人口962万人(2006年)の国です。北と東がブラジル、南がアルゼンチンとパラグアイ、そして西がチリとペルーに囲まれた内陸国です。1825年にラテンアメリカの解放者として知られるシモン・ボリバルの協力により将軍アントニオ・ホセ・デ・スクレがスペインから独立に導き、ボリバルの名に因んで国家「ボリビア」が創立されました。首都「スクレ」の名は、ボリビア独立の父にして初代大統領である(1826年)、将軍スクレに因んで付けられました。言語はスペイン語、ケチュア語、アイマラ語、グアラニー語が公用語です。

現在ボリビアは、行政的には9つの県に区分されているが、地形的な特徴からは国土は大きく①チチカカ湖から南に貫くアンデス山脈からなる標高3000m以上の年中寒冷な気候をもつ高原地帯(アルティプレーノ)が28%、②アンデス山脈中腹の標高1800m~2800mの温暖(20℃前後)で氷河や河川に削られてできた溪谷地帯(エル・バリェ)が13%、そして③北東側のアマゾン熱帯地域から南部のほとんど雨の降らないチャコ地方を含む国土の59%を占めている高温多湿(年間平均温度28℃)の標高1000m以下の低地平原(オリエンテ、あるいはリャノ)という三つの地域に分けられ、各地域はそれぞれ独自の自然環境に恵まれています。

南アメリカ大陸の太平洋岸を南北約8000kmにわたってはしる世界一長大なアンデス山脈から流れ落ちる河川の流域に形成されたオアシス地帯では、古くから様々な文化が盛衰をくり返し15世紀初め頃にはペルーとボリビア(チチカカ湖周辺)を中心にケチュア族がインカ帝国を作りました。インカ帝国が滅びて600年近くたった現在も、中央アンデス高地には当時とあまり変わらない急な斜面に開かれた階段耕地で伝統的なキヌアや乾燥じゃがいものチューニョ、とうもろこしの農産物やリャマやアルパカ、ヨーロッパから導入された羊の放牧を行って、自給自足的な生活を維持しているケチュア族やアイマラ族などのインカの末裔たちの暮らしが見られます。

ラテンアメリカへの旅行を計画される機会には是非一度ボリビアへ立ち寄ってみませんか。国内ツアーが安価ででき、至る所にコロニアル式建造物や、その文化の影響を多く受けた伝統的な民族衣装を身に着けている女性「チョリータ」の姿も見られ、スペイン統治時代の名残が多く残るまちなみなどの習俗を楽しむことができますよ。ボリビアはユネスコより人類の文化遺産として登録されたインカ帝国のティワナコ遺跡、ポトシ市街、古都スクレ、エル・フエルテ遺跡、ノエル・ケンブ・メルカド国立自然公園、チキトスのイエズス会伝動施設群の建造物があります。ウユニの塩湖、塩のホテル、恐竜の足跡、南米三大カーニバルの一つといわれるオルコのカーニバル、世界一高い所にある首都ラパスを始め数々の世界一を誇る国でもあります。心よりお待ちしております。



図1 ボリビア位置図  
引用:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』  
<http://es.wikipedia.org/wiki/Bolivia>

シリーズ

オルロはなんと言ってもカーニバルです。リオのカーニバルについて南米最大のお祭り。中には50Kg近くもある衣装と仮面をかぶって8日間も踊りつづける。毎年2月後半から3月初めに行われます。オルロのカーニバルは人類の世界遺産に登録されました。



図3ディアブラダ(引用: <http://http://www.genesis.sc2.com/oruro.htm>)



図2 ボリビア料理  
(引用: <http://www.lapaz.bo/wwwturismo/bienvenidoslapaz/>)

強い日光を浴びて育った野菜やじゃがいも、体にいい穀物ばかりで、ボリビアの料理は、日本の料理と全く違うようしていて、何故か親しみ深いものです。

ボリビア人の食生活は昼食に重点が置かれています。小さな前菜とボリュームたっぷりのスープで始まり肉料理のメインディッシュと続くのが一般的な「ボリビアごはん」です。

# JAPAN to ドイツ留学体験記

経済学部4年

生川 真実さん

2006年9月22日、私のドイツ留学が始まりました。海外経験は旅行で行ったカナダ1回、という私にとって今回の約一年間の留学には、不安もありました。しかし、高校時代から日本以外で生活・勉強してみたい、世界中の人と話してみたい、もっと世界をこの目で見てみたいという海外への憧れが強く、予てから長期留学を希望していた私には又とないチャンスで、期待でいっぱいでした。

留学を終えて今思うことは、やさしい人とのめぐり合ったことへの感謝の気持ちと、日本人であることへの意識です。留学が始まって間もない頃、英語すらまともに聞き話すことができなかった私にルームメイトは“ゆっくりでも意思疎通できるから問題ない”と書いてくれました。同じ寮のみんなには、妹のようにかわいがってもらいました。一緒にした宿題、散歩や買い物、寝る前のおしゃべりは、今となっては最高の思い出です。また、休みを利用して行った旅先での人との出会いも、電車で隣になっただけのおばあさんとのささいな会話も、今となっては貴重な出来事です。私はたくさんの人に支えられ、留学を楽しむことができました。

そしてもう一つ、私は日本人ということ、日本という国を意識するようになりました。21年間日本で生活し、今まで当たり前日本の便利さや豊かさに触れ、生活や文化、人と過ごしてきました。外から日本を見ることで、日本のことがよく見えるようになった気がします。他の国と比べることで文化やその違いをよく考えるようになり、他の国だけでなく自国に関して今まで以上に関心が深まりました。

この約一年間は、本当にあつという間でしたが、毎日が新鮮で言語も文化も全く違うドイツで、一言では語りつくせない程の経験をし、大満足です。留学は私にとって通過点でもあります。たくさんのことについて考えるきっかけを与えてくれた転機点でもありました。語学だけでなく、なにか人間的なものを学びました。私を支えて応援してくださったすべての人に感謝し、ヨーロッパからもらったやさしさを伝えていけたらと思います。





2006年9月14日、小さい頃から夢見ていた留學生活がついに始まるのだという期待と、自分の英語力に不安を抱きつつ、アイルランドに向けて出発しました。

セメスター1では、授業についていくのはとても大変でした。毎回授業で行われるグループワークの度に自分のスピーキング力の無さと、積極的に発言できない自分が悔しくて、恥ずかしくてたまりませんでした。

セメスター2では、もっと積極的に色々な人と話すしかない!と考え、授業数を増やしたり、ヨーロッパからの交換留學生も多数履修している授業に参加したりしました。またアイルランドの學生が履修する経済の授業も幾つか聴講しました。DCUには、フランス・イタリア・ドイツ・スペインなど、様々な国からの留學生も多数来ていました。みんなとても英語が上手で、言語が似ているからかな。と思いましたが、あるドイツ人の子に聞いてみると、9歳の頃から毎日学校の英語の授業の他にも自分で勉強して、やっとうまく話せるようになったと言っていました。また日本語学科の生徒には、ロシア語、フランス語、英語は話せ、そして現在、日本語を学んでいる。という人もいました。多くの素敵な人達との出会いは、そのたびに私により刺激を与え、自分を見つめ直すきっかけと自分自身の世界観を広げる機会となりました。

生活面ではフランス人とアイルランドの4人の女の子がフラットメイトでした。共同キッチンだったので、夕食時は毎日キッチン争奪戦でした。時々ミルクが半分以上無くなる珍事件も起きましたが、一番身近で様々な文化に触れることができる貴重な生活の場であったと思います。

今回の留学は今後の私の人生になくってはならない瞬間でした。自分の未熟さや無知を実感し、そしてそこで見つけた課題とこれから1つ1つ向き合っていく事が大切なのだと思います。このようなチャンスを与えてくれ、ずっと支えてくれた家族と、相談にのってくれた友人、そして留学において大変お世話になった事務の方々に深く感謝致します。



## ■ 人事関係記事 ■

### ～教員～

**教授昇任** ●経済学部 教授 岡田 和彦 ●地域政策学部 教授 熊澤 利和

**准教授昇任** ●経済学部 准教授 阿部 真理子 ●地域政策学部 准教授 吾郷 貴紀  
●地域政策学部 准教授 伊藤 亜都子 ●地域政策学部 准教授 中村 巨克

**新規採用教員** ●経済学部 准教授 久宗 周二 ●経済学部 講師 名和 賢美  
●経済学部 准教授 山崎 薫里 ●経済学部 講師 加藤 健太

**退職** ●経済学部 教授 小池 重喜 ●経済学部 教授 岸田 考弥  
●経済学部 教授 小川 雅敏 ●経済学部 助教授 新井 圭太  
●経済学部 助教授 中田 妙葉 ●地域政策学部 講師 柘植隆宏  
●地域政策学部 助教授 大野 武

### ～職員～

#### ■平成19年4月1日付 人事異動による転出者

氏名	新	旧
(庶務課)	(転出先)	(役職)
桑原 万明	市民部市民課長	庶務課長補佐(兼)情報担当係長
鈴木 教喜	財務部管財課長補佐(兼)庁舎管理担当係長	庶務課長補佐(兼)施設担当係長
佐藤 誠	財務部市民税課長補佐(兼)税制担当係長	庶務課長補佐(兼)庶務担当係長
武井 桂子	農政部田園整備課主査	庶務課主査
今泉 美穂	財務部管財課主任主事	庶務課主任主事
(教務課)		
土屋 秀夫	市民部保険年金課付課長(群馬県後期高齢者医療広域連合事務局次長(兼)賦課電算課長)	教務課長補佐(兼)教務担当係長
星 貴美子	農業共済事務局主任主事	教務課主任主事
坂爪 聡子	保健福祉部長寿社会課介護保険室主任主事	教務課主任主事
(入試課)		
青山 博	財務部納税課長	入試課長
大塚 紀子	群馬支所保険年金課主査	入試課主査
(学生課)		
高橋 伸治	保健福祉部長寿社会課長補佐(兼)六郷長寿センター館長	学生課長補佐(兼)学生担当係長
斎木 博	都市整備部公園緑地課長補佐(兼)公園管理事務所長	学生課長補佐(兼)就職担当係長
吉井 玲子	保健福祉部健康課主任保健師	学生課主任保健師
武井 欽也	財務部納税課主事	学生課主事
(高等学校課)		
原田 美幸	財務部資産税課主任主事	高等学校課主任主事
(附属図書館)		
桐生恵美子	市民部人権男女共同参画課長	附属図書館事務室長

氏名	新	旧
深町 光男	保健福祉部長寿社会課長補佐(兼)岩鼻長寿センター館長	附属図書館事務室長補佐(兼)図書担当係長
石川 知弘	高崎経済大学附属高等学校主任司書	附属図書館事務室主任司書
福原 美岐	図書館主事司書	附属図書館事務室主任司書

■平成19年4月1日付 人事異動による転入者

氏名	新	旧
植原 憲秋 (庶務課)	事務局長	市民部長
樋口 康弘	庶務課長補佐(兼)庶務担当係長	群馬支所福祉課長補佐(兼)長寿介護担当係長(兼)保健福祉部長寿社会課付係長
菊間 友晴	庶務課長補佐(兼)情報担当係長	都市整備部区画整理2課長補佐(兼)換地移転担当係長
森田 進	庶務課長補佐(兼)施設担当係長	建設部建築課長補佐(兼)建築担当係長
下田 博子	庶務課主任主事	市民部保健年金課主任主事
植原 和世 (教務課)	庶務課主事	市民部市民課主事
関口 豊	教務課長補佐(兼)教務担当係長	財務部市民税課長補佐(兼)税制担当係長
高橋 久美香	教務課主事	商工部産業課主事
野澤 あけの (入試課)	教務課主事	都市整備部市街地整備課主事
梅山 晃	入試課長	財務部納税課長
関上 朋恵 (学生課)	入試課主事	保健福祉部児童保育課主事
日浦 啓次	学生課長補佐(兼)就職担当係長	保健福祉部長寿社会課介護保険室長補佐(兼)介護料担当係長
永井 弘	学生課学生担当係長	保健福祉部社会福祉課保護担当係長
竹内 澄子	学生課主査	保健福祉部健康課主査
近藤 浩司	学生課主任主事	市長公室広報公聴課主任主事
瀧本 和正 (高等学校課)	学生課主任主事	総務部職員課付主任主事
田島 昌子 (附属図書館)	高等学校課主任主事	財務部市民税課主任主事
川嶋 俊樹	附属図書館事務室長	市長公室情報政策課長補佐(兼)電算担当係長
井ノ口 雄久	附属図書館事務室長補佐(兼)図書担当係長	図書館次長補佐(兼)図書担当係長
飯野 あつみ	附属図書館事務室主査	市民部保険年金課主査
南雲 清美	附属図書館事務室主任主事	都市整備部都市計画課主任主事

■大学内昇任者

氏名	新	旧
荻澤 久子	庶務課主任主事	庶務課主事
湯浅 貴夫	教務課主任主事	教務課主事

# 平成19年度 公開講座

【開学50周年記念】第24回高崎経済大学公開講座

## 共通テーマ「経済学・経営学の50年」

### ① 講義方式(経済学コース)…全5回

講義日	講師	テーマ
9/21(金)	唐澤 達之(経済学部教授)	ヨーロッパ史像の変遷 ー日本における西洋経済史研究のあゆみー
9/27(木)	伊佐 良次(地域政策学部講師)	観光と環境の経済学 ー持続可能な観光に向けてー
9/28(金)	岡田 和彦(経済学部教授)	経済学の反省 ー逆流する資本主義の時代にー
10/2(火)	中村 匡克(地域政策学部准教授)	経済学で考える地方分権
10/10(水)	柳瀬 明彦(経済学部准教授)	経済理論の50年 ー経済学はどこまで進化したか?ー

時間:18:40~20:10 場所:6号館621教室 受講料:1,000円(第1日目に会場でお支払ください)

定員:100名(先着順)定員になり次第締め切ります 対象者:18歳以上の方

修了証:規定の日数以上出席の方には最終日に修了証を交付します。

### ② 講義方式(経済学コース)…全5回

講義日	講師	テーマ
10/12(金)	潜道 文子(経済学部准教授)	江戸時代のビジネス倫理とキャリアウーマン
10/16(火)	土肥 将敦(地域政策学部講師)	ソーシャル・アントレプレナー(社会的企業家)とは何かー経営学が挑戦する新しい課題ー
10/19(金)	藤本 哲(経済学部准教授)	組織の構造を知る
10/25(木)	高橋美穂子(地域政策学部講師)	M&Aと企業価値
10/29(月)	水口 剛(経済学部准教授)	企業は環境を守るかー地球温暖化と「責任ある投資」からみた経済・経営の50年ー

時間:18:40~20:10 場所:6号館621教室 受講料:1,000円(第1日目に会場でお支払ください)

定員:100名(先着順)定員になり次第締め切ります 対象者:18歳以上の方

修了証:規定の日数以上出席の方には最終日に修了証を交付します。

### ③ゼミナール方式コース…全10回

講師	講義日	テーマ
田中 久夫(経済学部教授)	11/8(木)・9(金)	わが国の制度会計の現状と課題
阿部 圭司(経済学部准教授)	11/14(水)・21(水)	資本市場と企業経営
河藤 佳彦(地域政策学部准教授)		地域における産業政策を考える
	11/15(木)	地域資源と産業政策
	11/20(火)	まちづくりと産業政策
坪井 明彦(地域政策学部准教授)	11/29(木)・30(水)	マーケティング ーケーススタディーー
山崎 益吉(経済学部教授)		経済学の真の相(すがた)を求めて ー道徳と経済ー
	12/3(月)	A・スミスと道徳哲学 ー倫理と経済ー
	12/7(金)	石田梅岩と儒教 ーありべかかりの心と儉約の哲学ー

時間:18:40~20:10 場所:附属図書館会議室 受講料:2,000円(第1日目に会場でお支払ください)

定員:25名(先着順)定員になり次第締め切ります 対象者:18歳以上の方

修了証:規定の日数以上出席の方には最終日に修了証を交付します。

### 申し込み、問い合わせ先

〒370-0801 高崎市上並榎町1300番地 高崎経済大学庶務課公開講座担当(担当:井上)

電話027-343-5417 FAX 027-343-4830 E-mail syomu@tcue.ac.jp

ぐんま県民カレッジ連携講座



# 平成19年度入学試験実施状況

## 経済学部

( )数字は女子で内数

試験区分	志願者数	受験者数	入学者数
前期日程	711 (137)	646 (126)	154 (30)
公立大学中期日程	2,778 (640)	1,643 (390)	241 (45)
推薦A	147 (57)	147 (57)	71 (35)
推薦B	110 (36)	107 (36)	30 (9)
私費外国人留学生	23 (12)	23 (12)	6 (3)
社会人	1 (1)	1 (1)	0 (0)
帰国生徒	0 (0)	0 (0)	0 (0)
2・3年次編入・転入	20 (6)	16 (5)	2 (0)
合計	3,790 (889)	2,583 (627)	504 (122)

## 地域政策学部

試験区分	志願者数	受験者数	入学者数
前期日程	1,210 (344)	1,065 (303)	219 (74)
後期日程	932 (271)	446 (131)	124 (40)
推薦I	133 (66)	133 (66)	51 (33)
推薦II	190 (81)	190 (81)	47 (17)
私費外国人留学生(1次)	34 (14)	33 (14)	23 (9)
私費外国人留学生(2次)	22 (12)	21 (12)	6 (5)
社会人	4 (3)	4 (3)	2 (1)
2年次編入・転入	32 (18)	32 (18)	13 (10)
3年次編入・転入	52 (29)	49 (27)	22 (19)
帰国生徒	1 (1)	1 (1)	1 (1)
合計	2,610 (839)	1,974 (656)	508 (209)

## 大学院 経済・経営研究科

	選抜区分	志願者数	受験者数	入学者数
博士前期 第1期試験	現代社会経済システム専攻	1 (0)	1 (0)	0 (0)
	現代経営ビジネス専攻	6 (2)	6 (2)	5 (1)
	計	7 (2)	7 (2)	5 (1)
博士前期 第2期試験	現代社会経済システム専攻	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	現代経営ビジネス専攻	5 (3)	5 (3)	4 (3)
	計	5 (3)	5 (3)	4 (3)
博士	後期課程	3 (0)	3 (0)	2 (0)
経済・経営研究科合計		15 (5)	15 (5)	11 (4)
聴講生・科目履修生		1 (0)	1 (0)	1 (0)

## 大学院 地域政策研究科

	選抜区分	志願者数	受験者数	入学者数
博士 前期課程	秋期日程試験	18 (8)	17 (7)	14 (6)
	春期日程試験	14 (4)	12 (3)	10 (3)
	計	32 (12)	29 (10)	24 (9)
博士	後期課程	4 (2)	4 (2)	4 (2)
地域政策研究科合計		36 (14)	33 (12)	28 (11)
聴講生・科目履修生		2 (0)	2 (0)	2 (0)



# 図書館だより

## 平成18年度図書保有状況調

(平成19年3月31日現在)

### 図 書

区 分	0 総 記	1 宗教哲学	2 歴史地理	3 社会科学	4 自然科学	5 技術工学	6 産 業	7 芸術工 芸スポーツ	8 言 語	9 文 学	K 郷 土	その他	計	
和書	購 入	8,040	7,779	21,681	80,625	7,664	9,608	18,608	3,494	6,761	7,777	672	3,095	175,804
	寄 贈	1,085	1,707	11,731	10,174	567	849	2,353	744	273	1,947	2,556	134	34,120
	管理換	474	873	2,810	8,590	2,669	1,101	1,469	391	453	493	72	256	19,651
	その他	8	2	10	43	4	2	16	2	12	1	3	2	105
	計	9,607	10,361	36,232	99,432	10,904	11,560	22,446	4,631	7,499	10,218	3,303	3,487	229,680
洋書	購 入	4,000	1,081	1,532	20,794	994	2,009	3,098	227	2,190	1,301	0	170	37,396
	寄 贈	245	291	201	657	95	72	88	30	82	425	4	4	2,194
	管理換	91	334	291	2,427	35	174	249	38	502	534	0	21	4,696
	その他	11	1	0	2	0	1	0	1	2	0	0	0	18
	計	4,347	1,707	2,024	23,880	1,124	2,256	3,435	296	2,776	2,260	4	195	44,304
総 計	13,954	12,068	38,256	123,312	12,028	13,816	25,881	4,927	10,275	12,478	3,307	3,682	273,984	

### 学術雑誌

区 分	タイトル数	
和 雑 誌	購 入	347
	寄 贈	1,009
	管理換	0
	その他	7
	計	1,363
洋 雑 誌	購 入	332
	寄 贈	10
	管理換	0
	その他	3
	計	345
計	1,708	

### 他大学論集・紀要

区 分	タイトル数	
和 雑 誌	購 入	0
	寄 贈	1,620
	管理換	0
	その他	0
	計	1,620
洋 雑 誌	購 入	0
	寄 贈	0
	管理換	0
	その他	0
	計	0
計	1,620	

### 新 聞

区 分	タイトル数	
和	購 入	20
	寄 贈	1
	管理換	0
	その他	0
	計	21
洋	購 入	3
	寄 贈	0
	管理換	0
	その他	0
	計	3
計	24	

### 特別文庫

文 庫 名	和書	洋書
中 村 文 庫	1,026	336
徳 田 文 庫	505	0
大 沢 文 庫	82	23
真 保 文 庫	1,181	0
前 田 文 庫	201	0
飯 塚 文 庫	1,376	41
都 築 文 庫	427	0
毛 利 家 文 庫	323	0
川 村 文 庫	610	0
松 本 文 庫	2,178	45
地 方 史	5,653	5

### 視聴覚資料

区 分	ビデオ テープ	カセット テープ	CD	マイク ロ フ ィ ッ シュ	マイク ロ フ ィ ル ム	CD-ROM	DVD	LD	その他	計	
和	購 入	2,199	230	221	1	7	457	419	29	11	3,574
	寄 贈	37	0	2	0	0	12	4	0	5	60
	管理換	215	25	0	0	0	0	0	0	9	249
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,451	255	223	1	7	469	423	29	25	3,883
洋	購 入	71	5	18	0	1	14	50	0	0	159
	寄 贈	0	0	0	0	0	4	0	0	4	
	管理換	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	71	5	18	0	1	15	54	0	0	164
合 計	2,522	260	241	1	8	484	477	29	25	4,047	

## 高崎経済大学同窓会事務局から

高崎経済大学同窓会本部では、開学50周年記念式典にあわせて平成19年6月24日(日)に高崎ビューホテルにて3年に1度の同窓会総会を開催いたしました。全国から約500名の同窓生が集まり、懇親会ではOBのバンド演奏や応援団の音頭で学歌斉唱を行い、おかげ様で総会と懇親会を滞りなく進めることができました。

総会では、長年同窓会活動にご尽力いただいた井上達之助会長(2回卒)が勇退され、新たに市川豊行会長(9回卒)が就任しました。同窓生は23,000人を越えますます組織が拡大していく中、1都道府県1支部を目標に活発な同窓会活動を展開していきますので、皆様のご支援ご協力をよろしくお願ひします。

なお、平成19年度におきましても、各支部総会の日程等が決定次第、同窓会のホームページにて掲載しておりますので、ご不明な点がございましたら同窓会事務局までご連絡ください。

**TEL:027-344-6262・FAX:027-343-4830**

同窓会ホームページアドレス <http://www.takakeidai-doso.gr.jp>



同窓会総会に参加した大勢の卒業生達



北海道から参加の卒業生



奄美大島の卒業生(右から3番目)



# 大学広報

## 大学説明会

### ■平成19年度大学説明会

日 時：平成19年7月4日(水) 午後2時～4時

場 所：事務棟3階 大会議室

出席者：校長・進路指導教諭 56人

### ■オープンキャンパス

日 時：平成19年7月14日(土) 午前10時～16時

場 所：本学1号館・5号館・三扇会館等

出席者：655人

群馬県 57.1% 栃木県 9.6% 埼玉県 8.7% 長野県 4.8% 茨城県 4.1%

新潟県 3.4% 福島県 2.4% 山形県 1.9% 宮城県 1.2% 愛知県 1.0%

岩手県 1.0% 静岡県 1.0% 青森県 0.7% 東京都 0.7% 岐阜県 0.5%

千葉県 0.5% 秋田県 0.2% 愛媛県 0.2% 奈良県 0.2% 三重県 0.2%

### ■ミニオープンキャンパス

日 時：平成19年8月10日(金) 午前10時～15時

場 所：本学1号館・図書館・三扇会館等

出席者：397人

## 経済学会

### ■高崎経済大学経済学会では開学50周年を記念し

平成19年11月3日(土)本学にて「開学50周年記念シンポジウム」を開催いたします。

詳細等につきましては、決定次第ホームページで掲載する予定です。

## 地域政策学会

■論集『地域政策研究』第10巻 第1号発行

■平成19年度第1回学術文化講演会

日 時：平成19年6月27日(水) 午後4時～5時30分

場 所：高崎経済大学 附属図書館

講 師：大塚 柳太郎 (国立環境研究所理事長)

演 題：地球温暖化研究の最新情報

－人間と自然への影響を考える－

## 産業研究所

■第67回市民開放講演会

日 時：平成19年6月8日(金) 午後2時30分～4時30分

場 所：高崎経済大学 2号館214教室

講 師：レンツェンドー・ジグジッド

(駐日モンゴル国特命全権大使)

演 題：モンゴル・日本の経済・産業関係を問う

## 地域政策研究センター

■地域政策研究研修事業 ・ 職場議論活性化のための創造型政策評価・  
実践演習

■情報提供事業 ・ ラジオ高崎「ラジオゼミナール」

## 附属情報センター

### ■教育用コンピュータ設置状況(平成19年9月1日現在)

教室名	学生用パソコン	教員用パソコン
1号館3階131教室	40台	1台
1号館3階135教室	40台	1台
3号館2階321教室	56台	1台
3号館3階331教室 および332教室	80台	1台
6号館4階641教室	60台	1台
6号館4階642教室	40台	1台
6号館4階643教室	40台	1台
6号館4階644教室	60台	1台
附属図書館4階コンピュータ室	28台	
大学院棟 院生室	31台	
大学院棟 OAルーム	6台	
大学院棟 421教室	2台	
合 計	483台	8台

### ■学生向け講習会の実施状況(平成19年9月1日現在)

#### (1) 高経ネット利用許可講習会

内 容：高経ネットの利用方法やネットワーク利用の  
マナーについての講習

回 数：新入生対象…計20回（実施日：平成19年4月10日～13日）  
未取得者対象…計3回（実施日：平成19年5月9日～7月6日）  
受講者数：1,003人

#### (2) パソコン基本操作講習会（新入生対象）

・ワープロソフト（MS-Word）の基本講座

内 容：Wordを使った文字入力・文書編集・ファイル管理の方法等の  
基本操作についての講習

回 数：計5回（実施日：平成19年4月16日～20日）  
受講者数：70人

・Web検索 ・Webメールの基本講座

内 容：Internet Explorerを使って、Web検索の仕方および  
Webメールの使い方についての講習

回 数：計5回（実施日：平成19年4月16日～20日）  
受講者数：54人

#### (3) 「附属情報センターパンフレット」「コンピュータ・ネットワーク 利用の手引き」を改定し、新入生に配布した。

（実施日：平成19年4月10日）

# 開学 50 周年記念シンボルマーク・ロゴ決まる

本学は開学 50 周年を記念し、シンボルマーク・ロゴの公募を行いました。  
全国からご応募いただいた 712 作品から選定を行い、その最優秀作品を、「50 周年記念シンボルマーク・ロゴ」として決定いたしました。



最優秀作品 須賀 裕明さん（東京都・デザイナー）

## デザインコンセプト

- デザイン化した「T」は新たなる 50 年へと芽吹く高崎経済大学の活力と更なる発展の象徴
- 「2つの葉」は、無限（∞）の可能性とともに、学生相互、留学生との活発な交流など、学び合う学生像の象徴
- 「崎」の黄金色は太陽を意味し「活力」「創造」「永遠性」などの象徴
- 主色の緑色は、「洞察」「若さ」「希望」「友好」などの象徴とともに、植物が大地から天空に向かって芽生える「自由」の象徴

たか  
けい  
学  
報  
発  
行  
企  
画  
・  
編  
集

第77号

平成19年9月15日

高崎経済大学広報委員会

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町1300

電話 (027) 343-5417(代) FAX (027) 343-4830

IP電話050-5501-5777

URL : <http://www.tcue.ac.jp>



